

# 令和2年第1回 3月 喬木村議会定例会総括

令和2年4月7日 議員全員協議会

今回の総括については、新年度に向けた改善案を提出いただければ更なる改善が図れると考えます。

## ■ 3月定例会総括

### 【議会運営（新型コロナウイルス対策特別会期・日程について）】

#### 【下岡幸文議員】

新型コロナウイルス感染拡大防止が目的の下では必要な議会運営であった。ただ一議員として、疑問を感じた議案について異見交換をしていたのが、ICTを使った意見交換を意識しすぎて充分理解できていない部分があったと思う。

#### 【木下温司議員】

今議会においては状況判断ができない中で、国、県の状況等関係機関の情報を下に行政との調整の結果、短期間での運営を判断したもので、異例中の異例ではあったが、やむお得不い判断であったと思われる。

#### 【後藤章人議員】

現在もなお感染拡大中のコロナウイルスの様子を見た時、今定例会の、会期、日程については、良い決断であったと思う。突発的な事態に「対処する」という事は、「思い切る」という事だと感じた。今議会の運営に対し、様々な意見を聞くが、私の思いとしては、なぜこのような運営にしたかを、きちんと説明していきたいと思う。必ず理解が得られると思っている。

#### 【下平貢議員】

緊急事態の状況を迅速に対応した議会としての判断に自信をもって良いと思う。新型コロナウイルスという災害対応としては、前例がない中で、良策だったと考える。また、良い経験となった。

#### 【中森高茂議員】

状況に対応した議会運営で良い内容でした。今回の新型コロナ対策にたいして、今回の会期日程が議会運営に新たな方法での改革提案を考える基礎ができた。現在提案を整理している。

**【佐藤文彦議員】**

村の対策に同調しての対応で、危機管理の上でも重要な決断だったと評価する。

**【福澤真理子議員】**

コロナ感染拡大予防対策で、特別な会期で行なった。一般質問も常任委員会も自粛という定例会であったが、話を聞いた範囲では、理解を示す意見が多かった。が、会期など他町村の議会がほぼ通常通り行われた中で、疑問を持たれる方もおられた。緊急に対応を決めなくてはならなかった大変さがあったかと思う。陳情、請願も継続審議となり、正解かは分からない。

**【櫻井登議員】**

パンデミックの現在の状況から考えると、1か月前、国の小中高校への一斉休校を要請するというこの異常事態にも納得しうるし、同様に議会運営に際しても特別会期は適切な判断であったかと思う。今、思えば。人身の健康を最優先すべき判断であったと解釈されたのではないかと思う。故に、異常事態に対する特別会期並びに日程調整がなされたことは非難に値しないと考えられる。

他の自治体議会では通常と変わらない定例会が開かれたところもあった様だが、事の重大さ故の慎重な取組みは大事なこと。万が一を考えればきりが無いが、これで良かったと思う。

**【後藤澄壽議員】**

想定外の事態に直面した中で、最小限の日程で密度の濃い議会運営ができたと思う。

**【東原靖雄議員】**

本会議3日に縮小したことは良かった、期間の「新型コロナウイルス感染」についてどんなウイルスか新聞、報道関係からその内容を知ること、対策を把握して以後の行動の手洗い、マスクの着用が常時行う様になった。

**【小池豊議員】**

新型コロナウイルス対応については、国の方針に従ってではあったが、早めの対応で良かったと思います。

**【昼神二三男議員】**

特別会期を決断した理由からして、最適の選択であった。

## ■運営方法の改善事項

- ・タブレットを用いた意見交換や情報交換の方法など検討していくなど  
議会のICT化の研究を始める時と思う。
- ・議会運営においては、やむお得不い判断であったが、議案内容の検討に当たっては、説明を受けそれにより、即決、付託等もう少し慎重に対応すべきであったのではと感じる。
- ・定例会に係る議会運営は、委員会メンバー以外は開会日まで分からない。それは普通のことですか？付託案件など、推測はするが、正式でなくても事前に知ることは支障があるのでしょうか？ ⇒開会日前に決定して議案に反映している。確認願います。
- ・今回の運営で今まで以上に、簡略しても中身の濃い審議は可能であると感じたので、方法を考えていきたい。
- ・まだ終息の先が見えてこないなので今後の日程的には3日で良いかわからない、次回の定例会は余り縮小しないのが良いと思います。
- ・適切なる議会運営であったと考えており、今回の対応に改善は特にはない。

### 【本会議（開会）について】

#### 【下岡幸文議員】

初日即決議案のある時は、開会前に全員協議会で説明を受け、簡易な質問などをした方が良いと思う。議案を読んでいたが自分の理解と説明を聞いた後では考え方が少し違った。

#### 【木下温司議員】

今定例会は日程の関係で、開会日の即決議案が多かったが、付託審議も必要と感じる議案もあった。

#### 【後藤章人議員】

今回の進め方で良かったと思うが、その分、事前の調査をしっかりとやらなければと反省している。

#### 【下平貢議員】

進め方としては、執行部側からの詳細な説明もあり、また、即決議案に対しては、質疑も活発に行なわれ良かったと感じる。

動議が出された件については、動議が出されることは何ら問題のないことであるが、事前に調査を深めたり、当日、執行部側の説明、質疑を経て判断出来た課題であったと考える。

**【中森高茂議員】**

本会議即決議案に対し動議が出されたが、特に今回は新型コロナ対応のため、議運での理事者側との合意の下であり、動議が出される事は否定しないが、前もって伝えて頂ければ当日朝議運を開く方法が選択出来た。また、どの部分が不明である、または反対であるか前もって課長に問う事も選択肢としてあったと思う。私は課長に前もって電話を掛けて説明をして頂いた。また、他市町村の公共物管理条例についても調べ喬木と違う点についても追記が必要か否かを質疑した。

**【佐藤文彦議員】**

予算以外の議案は委員会付託なしの即決だったため、通常よりも事前の調査に時間を要したが、執行部側からの説明も丁寧だったため特に問題を感じなかった。

**【福澤真理子議員】**

予算以外は委員会付託なし、本会議で議決。議案第8号の議決方法について動議を出した。議案の内容について勉強不足であったと思うが、「説明を聞いてから」という反対討論は当たらないと思った。煩わせることになったが、手順は解った。

**【櫻井登議員】**

議案説明が少なかった分は、簡易な質問等、メールでの情報交換や、質問の回答等が適切にあって、補足や不足は予算決算委員会にて質疑応答が考えられたので、今回の対応に特に問題はない。

**【後藤澄壽議員】**

限られた日程の中で、密度の濃い会議ができたと思う。

**【東原靖雄議員】**

議案は事前の資料配布で有り、概要説明で良かった

**【小池豊議員】**

専決処分報告については、損害賠償額の内容、加入保険の内容等について、説明がほしかった。

**【昼神二三男議員】**

予算審議の重要な議会であったが、置かれた状況を鑑みての運営で良かったと思う。

## ■本会議（開会）の改善事項

- ・議運で議会日程を決める際は、最初に提案された議案の説明を聞きどのように審議していくか検討した方が良いと思う。
- ・即決議案については、事前の議員間討議が出来れば、議案に対する理解が更に進むと感じる。
- ・今回の開会を参考にできないかよく考えて見たい。短時間で終わったが、問題はなかったと思う。
- ・今回は緊急事態で仕方なかったが、「請願」「陳情」については、従来通り、常任委員会に付託して慎重に審査をしていくことが必要と思う。

### 【全員協議会・議員全員協議会の運営について】

#### 【下岡幸文議員】

全員協議会は議会と理事者部局の連絡調整の場ではあるが、互いに報告だけになるなどいくつか課題がある。運営方法の検討が必要か。議員全協は協議に時間がかかる。事前の資料配布で効率化できないか検討すべきと思う。

#### 【木下温司議員】

今定例会の日程は、特別の為多くの日程を組むことは難しかったと思われるが、即決議案については全員協議会にて説明、質疑等を受けておけばよかったとも思われる。

議員全員協議会も、時間短縮のため必要事項のみとなったが、議員間の情報共有の為には一番充実しなければと思います。また、各委員会が次に向けどのように対応していくのか、確認の為にも重要です。

#### 【後藤章人議員】

問題は感じなかった。

#### 【下平貢議員】

特にありません

#### 【中森高茂議員】

#### 【佐藤文彦議員】

特になし

【福澤眞理子議員】

コロナ対策で時間短縮のため、説明省略が多かった。

【櫻井登議員】

いずれも協議は十分尽くすことができた。異常の中では高効率な会議であった。改善は特にない。

【後藤澄壽議員】

限られた時間の中で密度の濃い会議ができたと思う。

【東原靖雄議員】

全員協議会は総務課の新型コロナウイルス感染予防対策の詳細な説明で解りやすかった、聞く度にその内容が理解できた。

【小池豊議員】

視察研修等報告書がまとめられており、短時間で良い議員全員協議会であったと思われます。

【昼神二三男議員】

コロナウイルスによる感染予防のため時間を切り詰めた説明であったが各議員がUSBによりデータを保持している現状から、今回の運営方法も試金石として検討する必要があると思う。

■全協・議員全協の改善事項

- ・資料の事前配布できないかの検討。⇒日程を前年より遅らせている。議員全協は極力事前配布に努めている。全協は執行機関と調整が必要ですので全協でご提案ください。
- ・議員全協の議題には、各委員会からの議題、資料等早目に提供して頂き、議論の内容が濃くなることを出来ればと思います。
- ・内容にもよるが、即決議案がある場合については、事前に全員協議会を開いて説明を受ける方法もひとつの手法として検討してみてもどうか。
- ・資料の量（広域連合）も多く、レジユメに資料の掲載ページをつけてもらえるとありがたい。⇒ページを貼付してあるのでご理解願いたい。
- ・事前に「議題」について考えをまとめておいて、さらに密度の濃い討論が行えたらと思う。

**【一般質問について】**  
**(通告議員の取り下げ協力により自粛)**

**【下岡幸文議員】**

議員の皆さんに理解いただいた結果。一般質問を聞きたかったという村民の声もあった。理由を説明し理解いただいた。

**【木下温司議員】**

議会運営委員会の開催時点での対応については、判断は正しかったのではないかと思います。

**【後藤章人議員】**

すでに通告済みの議員の方々の協力もあり、次回へ見送ったが、今定例会の場合これでよかったと思う。一般質問の在り方を考え直す良い機会になったと思う。

**【下平貢議員】**

緊急事態の状況を鑑みれば得策であった。今回の判断に対し、住民からの不満の意見は今の所入って来ていない。

**【中森高茂議員】**

**【佐藤文彦議員】**

危機管理の上での決断で、協力議員に対しては敬意を表す。

質問内容を予算決算常任委員会での総括質疑で対応できたことは、今後の一般質問のあり方を検討するきっかけとなる。

**【福澤真理子議員】**

通告前であった。すでに通告された議員が取り下げられ、行われなかった。

**【櫻井登議員】**

通告はしていたが、連絡を受けこの期に及び事態の深刻さを考えれば止む無しと考えて返事をさせていただいた。次回に再通告すれば良しと判断した。

**【後藤澄壽議員】**

議会運営委員会に協力して通告をとりさげた。今回は仕方なかったが、住民からは批判があった。同様の事態が起こることはないと思うが、住民からの批判も考慮した対応を心がけていきたい。



**【東原靖雄議員】**

日程的な自粛に協力出来て良かった

**【小池豊議員】**

当初の方針であり、これで良かったと思います。

**【昼神二三男議員】**

危機管理上からも、今回の対応は正解と思う。

**■本会議一般質問の改善事項**

- ・住民意見としては、クリンネット等を通じ、一問一答による対応もできたのではないかという意見もあった。
- ・今回の予算決算常任委員会の、総括質疑方式は結果的に良かった。今後は一般質問の方法を、代表質問方式など、手法を変えて見るのも一理あると考える。
- ・一般質問のあり方を検討する必要がある。
- ・住民に開かれた議会とする上では、一般質問よりも、総括質疑を公開で行った方が良いと感じる。
- ・掘り下げが弱いことは承知しているが、通告書に記載した以外は質問できない。飯島町議会では、再質問も可能と聞いた。関連・再・補足の質問はどのようなのでしょうか。
- ・必ずしも必要なのかどうか、代表質問と絡め考えてみたらと思う。
- ・住民の批判も考慮し、取り下げについては慎重に対応したい。
- ・予算決算委員会の中で、総括質問可能ということで、一部は質問させていただいたが、残りの通告した質問は次回にと考えているが、再考して内容が変更なることもあり得る。(改善ではないが)

**【事前質問・事前の意見集約について】**

(改善点・問題点。)

**【下岡幸文議員】**

事前質問が多く、委員会での質疑に不安があったが、事前質問を基に良い質疑が出来た。

**【木下温司議員】**

今回はそれぞれに、多くの質問ができたのではないかと思います。また、回答についても丁寧な回答を寄せていただき、理解を深めることが出来たと思います。



**【後藤章人議員】**

事前質問は必ず必要であり、今回は、改めてその必要性を感じた。

**【下平貢議員】**

簡易な質問という定義の中では少々反省しているが、予算審議、一般質問も出来なかったことからあえて質問させてもらった。

**【中森高茂議員】**

**【佐藤文彦議員】**

委員会の時間短縮にご理解頂き、いつになく簡易な質問が多く出され、スムーズな委員会進行に協力いただいた。

**【福澤真理子議員】**

質問して回答をもらったが、それを活かしてきれていない自分の課題がある。他の議員が質問してくれたことで、自分が気の付かない事項について、理解ができることが多い。

**【櫻井登議員】**

限られた時間の中で効率的な質疑応答が可能ということは合理的であって、定着してきたと感じている。

**【後藤澄壽議員】**

他の議員の質問に対する回答なども自分の考えをまとめる上で参考になった。討論を深める上でも有効であったので、今後もより充実した形で継続していきたい。

**【東原靖雄議員】**

**【小池豊議員】**

質問に対する村の回答が良く対応されており、質疑の時短にも繋がったかと思われます。

**【昼神二三男議員】**

特別会期の今議会においては、特に事前質問が時間的に大きな効果をもたらしたのではないかと思う。

## ■事前質問・意見集約の改善事項

- ・議案毎の集約と質問・意見毎の集約とどちらがわかりやすいか。
- ・現状維持で良いと思います。
- ・今回の場合のみならず、議案配布から開会日までの期間が短い場合、即決議案に対する事前質問を共有する機会はとれない。事前に議員間討議の時間を確保することも議案の理解を深める上では必要と感じる。
- ・自分として、まずは自分の意見を書くことから、と思う。
- ・今の方法でよいと思う。
- ・意見集約結果を活用してメールなどで議員間の事前討議ができればいいかなと思う。
- ・事前質問、意見集約には資料の把握が必要で時間的に長く望ましい。

### 【ICTを活用した議員間討議について】

(会期中実施できたか。今後どのように議員間討議を実現するか)

#### 【下岡幸文議員】

パソコンによる議員間討議は一方通行と時間差があり難しい。チャットのような意見交換を考えているうちに会期が終了した。

#### 【木下温司議員】

現実的には実施できなかった。

#### 【後藤章人議員】

ICTを活用した議員間討議は無かったが、それは大いに必要であり、今回のような特別な場合だけでなく、開会、閉会中を問わず、実現させていくべきかと思う。出来れば、直接向き合って実施したい。開会日、閉会日に、いくらでも時間がとれればと思う。

#### 【下平貢議員】

議案に対しては実施できなかったが、委員会のテーマについては機能していたと思う。

#### 【中森高茂議員】

今議会に関しては実施できなかった。

#### 【佐藤文彦議員】

全く出来ていない。

【福澤眞理子議員】

討議はできなかった。

【櫻井登議員】

十分にできたわけではないが、内容に関して提起したことも行なった。意見発信などの類は日常的に、議員間に限らず行なっているので、情報の受発信は必要なことだと思っている。今後の議員間討議は、従来十分ではなかったなので、その作業は必要性和内容の把握、議論の展開や議会運営などの様々な場面に活かしていくことは良いことと受け止めている。また、実行していきたい。

【後藤澄壽議員】

メールで問題点の指摘などし合うことができた。

【東原靖雄議員】

お互いの意見交換は必要で今後は是非利用したい。

【小池豊議員】

特にありません。

【昼神二三男議員】

議員間討議は、出来なかった。以前には思いを同じにする議員が一室に集い、自由に駄弁ったこともあった。

■令和2年度 議員間討議を実現するために行うことは

- ・ 実際行うには難しい点もある。今後検討を要する。
- ・ I C Tを利用した場合、討議するテーマや内容を、誰が発信して誰がまとめていくか。またその目的や落としどころをどう判断するか。ルール作りも必要と考える。
- ・ 議員間討議は手法としては良いと思うが、全議員が一律に行なう必要があるかは疑問。内容にもよるが、個々の対応で良いのではないか。
- ・ 自主的な実現は無理がある。議会として時間を確保しなければ、議員間討議が習慣化してこないと感じる。
- ・ とっかかりが難しい。メール、ライン、チャットなど手段はあるが、活用するには議員の意識だと思うが。連絡だけでなく、普段から慣れる機会を作る。まずは繋がることからですか。
- ・ 会期中、日程の中から時間を作り出せないものか？
- ・ メールなど活用した討議が有効と思う。

- ・ラインのグループのような感覚もあれば、フリーの相對もある。必要に応じてやり方を議員個人の発信方法で選択できれば良い。
- ・自主か、一律か等、実現に向けての第一歩目の話し合いの場が必要。

## 【予算決算常任委員会の審議・運営について】 (改善点・問題点)

### 【下岡幸文議員】

補正予算案審議では今回のような運営で良いと思う。予算審議・決算認定については再検討が必要と思う。

### 【木下温司議員】

今委員会は、20年度予算の執行に関する審議でしたが、事業内容の質疑以外に総括質疑を取り入れたことにより、より奥の深い審議に繋がったと思われる。

### 【後藤章人議員】

今回、必要最小限の特別日程の中、最も大切な、予算決算の委員会の開催が実現でき、良かった。各議員の発言も、総括も含め活発だったと思う。委員長は、様々な発言があり、大変であったと思うが。

### 【下平貢議員】

今回の総括質疑方式は良かったと考える。

### 【中森高茂議員】

### 【佐藤文彦議員】

総括的な質疑も多く、短時間でも重要な審議ができたと感じる。特別会計、事業会計に対しても質疑が欲しかった。特に保険料など各種料金については住民に直結する部分。そこまでの準備が出来なかったことを反省する。

討論は議案に対して行うべき。

### 【福澤真理子議員】

説明は事前に受け、直接質疑に入る方法も良かった

そうなべて説明を聞くより、重点施策について説明を受けたことはよかった。感染対策もあるが、適時短時間の休憩を挟むのはメリハリが付き、切り替えができ、よかった。

### 【櫻井登議員】

20号議案に関しては40件ほどの質問が出され、答弁を受け、併せて総括質疑もできたことは、縮略部分を十分カバーできた議会であったと感じた。賛成討論も十分に吟味された個別内容についての意見が整理されており、大変良かったと思っている。(賛成討論者)

### 【後藤澄壽議員】

質問に対して具体的な事例を挙げた丁寧な回答があり、討論を深めることができた。

### 【東原靖雄議員】

予算決算委員会は総括的に質問することにより関連性につながり予算がより深く審議出来る

### 【小池豊議員】

特にありません。

### 【昼神二三男議員】

特別会期中での審議・運営は良かった。一般質問に代わる総括的質疑についても良かった。

## ■ 予算決算委員会の審議・運営の改善事項

- ・事前の意見集約において、ほかの人の意見を見て気が付くこともあるので一概には言えないが、意見集約に自分の視点でとらえた、質疑が出ると良い。
- ・今後も総括的な質疑が出来るよう、一般質問のあり方と共に検討したい。
- ・メールを使って議員間で事前討論しておくことが、密度の濃い審査につながると思う。
- ・今後の補正審議が夜間議会でも総括的に質問が来れば充実な審議が出来ると思います。

### 【予算決算常任委員会における総括的な質疑について】

(予算計上以外の総括的質疑は今回限定：感想等)

### 【下岡幸文議員】

総括質疑は一般質問通告後に生じた質問となる、或いは一般質問で取り上げにくい簡易な質問になる。委員会の中でこのような質疑の時間をとることは必要と思う。

**【木下温司議員】**

今回議会運営の日程上、総括質疑が取り入れられたが、出された意見等実の濃いものがあったのではないかと思う。

**【後藤章人議員】**

大変良かった。「通告」に縛られることなく発言でき、行政の、本音に近いことも聞かれたと思う。内容的にも大変良かったと思うし、普段の定例会であったら、ぜひ傍聴してもらいたいと思った。今後に活かしていきたい進め方であった。

**【下平貢議員】**

今回限定とせず今後も取り入れていけば良いと考える。

**【中森高茂議員】**

特に印象に残った点は、質問を取り下げた議員の予算決算委員会での質問や多くの質問に対して、課長および理事者の考え方を聴けた事である。

**【佐藤文彦議員】**

今後の検討課題だと思う。予算計上以外の総括質疑もOKにしていく事が議会改革ではないかと考える。今後も総括的な質疑が出来るよう、一般質問のあり方と共に検討したい。

**【福澤真理子議員】**

一般質問に代わる質問も受けていただけた。踏み込めなかったのがちょっと口惜しい。

**【櫻井登議員】**

やはり予算計上、或いは予算計上の関係あるなしに関わらず、一般質問が実施されなかったかった分、それに替わる機会として総括質疑は意義があった。臨機応変にできたと思う。

**【後藤澄壽議員】**

密度の濃い総括質疑だったと思うので今後も継続できればと思う。

**【東原靖雄議員】**

一般質問が中止のためか総括的な質問が多く出されて多面的に予算が把握できた。

【小池豊議員】

単なる質疑だけでなく、議員としての意見が出され、それに対して理事者としての進め方方針も出され、良い意見交換ができた。

【昼神二三男議員】

一般質問とは異なるレベルの質問ができて良かった。継続実施を望む。

■ 予算決算委員会における総括的質疑について  
(予算計上の総括質疑は今後も可能です)

- ・ 毎回の予算決算委員会で総括質疑の申し出が事前に議員よりあれば、総括質疑を行うこととした方が良いと思う。
- ・ 総括質疑について、今回大変良かったと感じています。今後、予算決算委員会がいいのか、全員協議会がいいのかわかりませんが、質疑の特性からいけば、予算や事業進行との関連から、予算委員会等に併せて行うことが望ましいと思われる。
- ・ 今後の定例会の考え方として、予算決算常任委員会の審議に重点をおき、総括的な質疑を取り入れることにより、今まで慣例として行なってきた一般質問のあり方も変わってくると考える。一案としては、今までの一般質問の方法を変更し、予算決算常任委員会前に、代表質問を開催し、今後の村政について資した上で、更に委員会で数字的なことを確認していけば、内容の濃い議会審議に繋がっていくのではと考える。住民に対しても伝わり易い議会になるのではないかと思う。今回の状況を住民に確認したところ、今回のやり方の方が良いという意見も頂いた。一考しても良いと考える。
- ・ 自分はいまうまいかなかったが、他の議員の質問を聞いていてよかった。建設的にできれば、こういう質疑を村民の方は望んでいるのかもしれないと思った。
- ・ 総括質疑は今後もぜひ続けていきたい。
- ・ 予算決算委員会の総括質疑はとても大切と思うので今後も継続を願いたい。
- ・ 予算計上に関する一般質問のレベル以下の質問機会は必要である。



**【本会議（閉会）について】**  
**（委員長報告、討論・採決方法など）**

**【下岡幸文議員】**

特になし

**【木下温司議員】**

今回は予算決算委員会の報告と、質疑、討論、採決と言う、異例の対応でしたが、特に問題はなかったと思います。

**【後藤章人議員】**

別段問題はありません。

**【下平貢議員】**

全てを起立採決にしなくても良いと感じた。

**【中森高茂議員】**

**【佐藤文彦議員】**

特になし。

**【福澤眞理子議員】**

特に意見なし。討論には自分ではできなかった。

**【櫻井登議員】**

特に問題はなかった。

**【後藤澄壽議員】**

もっと「討論」が必要かと思った。

**【東原靖雄議員】**

委員長報告はまとまって時間的に縮小されて良かった、採決は起立採決で村民に解りやすく良かった。

**【小池豊議員】**

特にありません。

**【昼神二三男議員】**

特になし

## ■本会議（閉会）の改善事項

- ・今議会は、委員会、議員全員協議会を午前中に、本会議閉会を午後に日程を組んだが、ケースバイケースもあるが、このような対応も良かったのではないかと考える。
- ・もっと活発な討論が必要かと思う。

### 【その他】

#### （全般的な事項、傍聴者への対応など）

#### 【下岡幸文議員】

新型コロナウイルスで自粛ムードの中、理事者・職員は通常業務、では議員としての活動はどうあるべきか、悩む。

#### 【木下温司議員】

今議会は特別対応でしたので、傍聴者にも理解をして頂いたことと思います。

#### 【後藤章人議員】

予算決算常任委員会において、今回は、総括的な質疑を行ったが、常時できるとよいと思う。これに伴って一般質問の在り方、方法を考えてもよい。

開会日に、日程について動議が出された。動議そのものには何の異議もないが、その少し前に、議運委員長の報告があり、全議員が異議無しであったのに、なぜ動議が出されたのか。委員長報告の時点での動議ならわかるが、動議が出されたタイミングに、不自然さを感じ、不思議に思った。また、委員長報告に対し、異議なしであったはずの議員が、何の説明もなく、動議に賛成したのは、あまりにも無責任であり、問題であると思うのだが。

コロナウイルス対策のため、喬木村独自の議会運営をしたが、これに対して住民の皆様、他市町村などから様々な意見が出てくると思う。今回の議会運営をどうみられるかという事に気を回すより、我々の考えをしっかりと持ち、きちんと、そして堂々と説明していきたいと思う。

今定例会は、議会の在り方、議会運営等を考えるのに、大変良い機会であったととらえている。

#### 【下平貢議員】

緊急事態の状況で仕方なかったが、委員会現地調査が実施出来ず残念であった。次回は実施したい。

**【中森高茂議員】**

**【佐藤文彦議員】**

今回は特別な対応であり、他の議会には無い危機管理への意識の表れであったと思う。感染拡大を防ぐ基本は一人一人が「自分が感染していると思って行動する」ことであり、もし議場の中で一人でも感染者がいたとしたら考えると、喬木村議会の決断は評価されても、批判されることではないと考える。

**【福澤真理子議員】**

今定例会は自粛の呼びかけもあり、傍聴者はほとんどなかった。

**【櫻井登議員】**

傍聴者不在の議会は初めてのことであり、住民の方々も残念の極みであったと思われるが、今回は止むを得ない状況の中であったのでご理解はいただきたいと思います。

従前通りの自治体議会もあり、見解は様々あろうかと思われませんが、これも人身上の健康を優先してのことであり、今でこそパンデミック状態であるので、個人的には残念な対応と感じたが、仕方がないことと受け止めている。傍聴者が誰もいない議会であっても、いつもの緊張感は全く変わるものではなく、いつも通り緊張した議会であった。

**【後藤澄壽議員】**

傍聴者なしはしかたなかったとはいえ、本会議イチゴチャンネルの中継とか工夫が欲しかった。

**【東原靖雄議員】**

緊急対策で傍聴者の方が欠席されましたが今後は議会と共に出席される様に希望します。

**【小池豊議員】**

特にありません。

**【昼神二三男議員】**

今議会は、新型コロナウイルス感染予防のためのレアなケースとして捉えている。ポリシーが明確であれば住民の皆さんにも理解されると思う。

## ■その他の改善事項

- ・新型コロナウイルスの対応で、令和 2 年度当初予算の審議が傍聴できなかった点、傍聴者の皆さんには心苦しい点があったと思いますが、やむおかない対応と考えます。

## ■令和 2 年度 定例会運営上の提案事項

### 【下岡幸文議員】

議会活動の生の姿を村民に見てもらう方法の検討が必要と思う。(例えばビデオカメラの有効活用、いちごチャンネルでの自主番組など)

### 【木下温司議員】

今回議案に対し動議が提出され、採決の結果否決されたが、動議提出までの手順のまずさもあった、動議は議会にとって認められたものでは有るが、今回の件については、事前の対応である程度処理できたのではと考える。

### 【後藤章人議員】

密度の濃い議会となるように、メールなどを利用した議員間の事前討議などを活発にして、さらに密度の濃い深い討議のできる魅力ある議会になるようにしていきたい。それが議員のなりて不足に対する対策のひとつにもなるかと思う。

### 【下平貢議員】

### 【中森高茂議員】

一般質問のあり方を変える。

### 【佐藤文彦議員】

改選まで 1 年となる。各議員の責任として、成り手の確保に繋がるひと工夫が必要となると思う。

### 【福澤真理子議員】

### 【櫻井登議員】

### 【後藤澄壽議員】

### 【束原靖雄議員】

議員として最終年度になるため議会改革である休日、夜間議会のまとめ

が必要と思われる

【小池豊議員】

今後、議会、委員会等の時間短縮努力については、努力していただきたいが、浮いた時間で、村内の視察(道路の状況、工事の様子、産業の状況等)と研修の時間にあてて欲しい。

【昼神二三男議員】

喫緊の課題であるコロナウイルス対策の状況を把握した臨機応変の議会運営に努める。

■令和2年度 定例会運営上の提案事項

- ・議会運営委員会の在り方と、動議等出ないような協議運営が必要、そのためにも、提案議案の内容について、しっかりと把握し対応をすることが求められる。
- ・上位法の改正による条例改正などは、今後も即決で良いと考える。最終日採決でも良い。内容にもよるが、何が何でも委員会付託しなくてもよいと考える。
- ・一般質問の方法については検討願いたい。⇒具体的にお示し願いたい。
- ・総括質疑有りの予算決算常任委員会の休日開催。
- ・可能なかぎり、昼間の開催がよい。⇒任期中は現在の運営方法では？
- ・メールなど利用した議員間の事前討議を重ね充実した討議のできる定例会になるような運営を心がける。
- ・新型コロナウイルス感染対策が長引く傾向で有るので今後の動向を注視していくことが今後議会運営が左右されることになると思います。
- ・議案の内、上位法の改正に伴う条例の改正に限っては、委員会付託を省略して即決議案とする。